



企画展「大正琴の世界」開催中 (2/1まで)

大正琴は、今から約100年前の大正元(1912)年に大須観音で有名な名古屋大須生まれの森田吾郎(1874～1952)によって発明されました。彼は、当時人気の高かった日本の楽器「二弦琴」と日本ではまだ発売されていなかった「タイプライター」の機構を応用して、大正琴を考案したといわれています。

森田吾郎は、幕末に中国から伝わった「明清楽」の「明笛」や「月琴」さらに和楽器の「一弦琴」や「二弦琴」など当時流行していた楽器をたしなみ、なかでも明笛の演奏技術はかなりの腕前でした。明治30年代には、それらの楽器を携えて、当時としては極めて珍しい世界行脚の旅に出かけ各地で演奏を行なったほどの演奏者でもありました。

大正琴が誕生した頃の日本では、明治維新後に導入された西洋音楽をより手軽に楽しめるように、数多くの楽器が日本人の手によって創作されました。それらの楽器はすでに廃れてしまい、現在ではほとんど残されていません。しかし、大正琴のみが戦前・戦後と大ブームが起こり現在も数多くの人々によって演奏され続けています。また、インドや中国、インドネシアなどの国においては、大正琴と同じ形状の楽器が使われています。このことは、大変興味深いことです。

この展覧会では、大正琴の誕生から現代までの楽器構造の変遷、世界の大正琴など約60点の楽器と関連資

料を通して、大正琴の世界を紹介しています。さらに、森田吾郎の功績にも焦点を当てて、大正琴以外の発明品の中から現在わずかに残っている「陽琴」「金剛琴」「ムーンライト」を展示しています。

世界を見た森田吾郎が何を思って大正琴を作り、その楽器が現在どのように受け継がれているのか。まもなく誕生から100周年を迎える大正琴の世界を探求してみませんか。なお、11月29日には大正琴の研究者・金子敦子教授による文化講座も開催します。ぜひ、こちらもお参加ください。



講座「大正琴・発明者森田吾郎の夢とロマン」

日時：平成20年11月29日(土)14:00

会場：アクティ研修交流センター
52 研修交流室

講師：金子敦子(名古屋芸術大学 教授)

参加費：無料(要申込)

申込：電話 053-451-1128 にて受付中

第79回レクチャーコンサート ニャティティ・ケニヤ、ルオーの魂



ケニヤに住むルオー族の伝統楽器ニャティティ。アニャンゴ(向山恵理子)、師匠であるニャムング・オディヤンボ、ダンサーの皆さんによるケニヤの豊かな音楽とダンスを楽しみました。ルオー族のしきたりでは男性にしか演奏することが許されない楽器ですが、女性奏者として世界初の免許皆伝を受けたアニャンゴさんの修行から免許皆伝までのストーリーをまとめた映像を見ながら、ニャティティとアフリカについてのお話もありました。また、この演奏会では、世界で初めてニャティティの合奏が実現しました。“ダンサーと踊るダンス講座”も開かれ客席と一体となってダンスを踊りました。

日 時：平成20年10月19日(日) 14:00～16:00
 会 場：アクトシティ音楽工房ホール
 出 演：ニャムング・オディヤンボ、マーガレット・アドヨ、アニャンゴ with ニャティティ・ワレンボ、テンパ・テラー
 入場者：92名

第78回レクチャーコンサート 超絶技巧・ハーモニカ四重奏

フィンランドから来日したハーモニカ四重奏団“スヴェング”の皆さんによる演奏を楽しみました。メンバーは、バンドの創始者エーロ・トゥルカさんの他、エーロ・グランドストルムさん、ヨーコ・クッハラさん、パシ・レイノさんの4人。4人で大小さまざまなハーモニカを使い分けて曲を演奏しました。ハーモニカといえば、懐かしの唱歌や民謡…というようなイメージをお持ちの方もいるかと思いますが、スヴェングが演奏した曲はヨーロッパの伝統的な曲から流行歌、速い曲から遅い曲まで幅広いレパートリーです。楽器に対するイメージを一新してしまう楽しい演奏会になりました。

日 時：平成20年9月23日(火) 14:00～16:00
 会 場：アクトシティ音楽工房ホール
 出 演：スヴェング(フィンランド) 入場者：273名



第77回レクチャーコンサート 楽しきスイス・アルプホルン



スイス、アルプス地方の伝統楽器アルプホルン。アルプホルン作りと演奏活動を行なっている「玉川アルプホルンクラブ」の皆さんによって、アルプホルンのほか、カウベル、ツィター、アコーディオンなど、アルプス地方で使われている楽器の演奏を楽しみました。

総勢24名によるアルプホルンの合奏は壮観で、迫力満点。カウベルの合奏では、素早い手さばきで弾きこなす超絶技巧に拍手喝采でした。また、映像を使用して「スイスの音楽と自然」のお話、ヨーデルの演奏、さらにお客さんも一緒になってステージ上でダンスが踊られました。にぎやかで盛りだくさんの楽しい演奏会でした。

日 時：平成20年8月17日(日) 14:00～16:00
 会 場：アクトシティ音楽工房ホール
 出 演：玉川アルプホルンクラブ 入場者：165名

フォルテピアノ・イブニングサロン ピアノの響き～ウィーンとロンドン～

このイブニングサロンでは、歴史的な楽器に囲まれ、普段のコンサートとは違う雰囲気の中、アムステルダムを拠点に国内外で演奏活動を行なっている岩村かおるさんをお迎えし、ウィーンとロンドンのピアノの音色の違いを聴いていただきました。華やかな装飾が施され、貴族の雰囲気漂うウィーン製ではモーツァルトを、シンプルな見た目ながら、産業革命の影響を受けて頑丈に作られたロンドン製ではクレメンティ等が演奏されました。国によって音楽の趣味も違うのです、と岩村さん。自身の経験を踏まえ、楽器の特徴や作曲家同士の関わりについての説明では、皆さん興味深く耳を傾けていました。

日 時：平成20年9月27日(土)18:30～20:00
 会 場：楽器博物館展示室 出 演：岩村かおる
 入場者：42名



楽器体験ワークショップ

モンゴルの馬頭琴

「スーホの白い馬」で知られているモンゴルの馬頭琴。小学生を対象としたワークショップを初めて行いました。実際にモンゴルへ足を運んだ経験のある6人の講師を迎え、モンゴルの文化を紹介しながら馬頭琴の演奏体験を行いました。色鮮やかな衣装「デール」に着替え、モンゴルの写真を見ながらお話を耳を傾け、馬頭琴に合わせて踊ったり歌を聴いたりしました。演奏体験は、きらきら星が弾けるまでに上達し、講師と共に「草原の馬」の合奏をし、馬が風を切って草原を駆けるようすが見事に再現されました。最後に、現地で愛飲されているスーティー茶がふるまわれ、モンゴルの生活さながらの体験ができたことと好評でした。



日 時：平成20年8月6日(水) Aコース10:00～11:30
Bコース13:00～14:30 Cコース15:00～16:30
会 場：アクトシティ研修交流センター
講 師：馬頭琴レクチャーグループ・サランモル 参加者：17名

楽器体験ワークショップ

インドネシアバリ島のガムラン

スピード感があり華やかな音色のインドネシア・バリ島のガムランの演奏に挑戦しました。まずは、バチの持ち方からはじまり、基礎的な演奏法を習った後、バリ島の人々が最初に習う「Gilak (ギラック)」という曲を演奏しました。ガムランは、楽譜を使わずに繰り返し練習して曲を憶えるため音に集中することができ、身体で響きやリズムを感じられるようになります。ときどき楽器を交代して、どの種類の楽器も一度は触れることができました。休憩時間に先生が現地で撮影されたガムラン演奏の映像を鑑賞し、日本にいることを忘れるようなひとときを過ごしました。



日 時：平成20年9月21日(日)18:30～21:00
会 場：楽器博物館 展示室
講 師：皆川厚一(神田外語大学講師)
参加者：19名

楽器体験ワークショップ

アメリカ生まれのバンジョー



まず最初に、バンジョーの歴史や日本との関係、アメリカでどのように使われているかなど、バンジョーを取り巻く文化のお話がありました。お話に続いて基本的な音の出し方を習った後、原さんによって考案された色楽譜の中から、それぞれ好きな曲を選んで弾き歌いに挑戦しました。楽器に慣れるまでは、弦をしっかり押さえられなかったり、弾くことに集中して歌うのを忘れてたりすることもありましたが、途中からグループに分かれて練習を行い最後にはグループで発表ができるほどに上達しました。陽気なバンジョーの響きと楽しい歌声に包まれたひとときでした。

日 時：平成20年8月16日(土) Aコース10:30～12:00
Bコース13:00～14:30
会 場：アクトシティ研修交流センター
講 師：原さとし(バンジョー演奏家)
参加者：18名

講座「楽器の中の聖と俗」

華麗に舞うハニ族、ペー族、そしてタイ族



楽器を通して世界各地の文化を探る連続講座。本年度2回目は、雲南省に住むハニ族、ペー族、タイ族をテーマに行ないました。日本とほぼ同じ面積でその94%が山岳地帯という雲南省には、20数種の少数民族が暮らしています。ミニスカートと黒い衣装を好み、陽気に豚と暮らすハニ族。日本人と近い民族で、祭りや歌と踊りが何より好きなペー族。亜熱帯の森にオシャレな女性たちの衣装が際立つタイ族。この講座では、それぞれの民族に伝わる舞踊、歌、楽器について映像と解説で紹介しました。映像には恋歌が多く収録されており、日本とは異なったデートや結婚にまつわるお話にも触れました。

日 時：平成20年10月4日(土)14:00～16:00
会 場：アクトシティ研修交流センター
講 師：西岡信雄(大阪音楽大学名誉教授・当館名誉館長)
参加者：29名

講座「甦る古代中国の音」

特別展「敦煌莫高窟壁画からの復元楽器」(7/6～8/31)の関連事業として古代中国音楽の復元をテーマにした講座を開催しました。録音機器が無く、伝承が途絶えてしまった音楽は現代聞くことができませんが、歴史的資料を分析し解明することで当時奏でていたであろう音楽を復元することができます。また、中国と日本では復元に対する考え方も違うということなどが紹介されました。

日 時：平成20年8月9日(土)
14:00～16:00
会 場：アクトシティ研修交流センター
講 師：明木茂夫(中京大学教授)



◆これからの催し物

- ミュージアムサロン 職員やゲストによる演奏
11/23(日)「ジャワ・ガムランを弾こう」
12/21(日)「チェンバー・オルガン」
※詳細は、お問い合わせください。
- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
※催し物により変更もあります。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日1時間毎
チェンバロや19世紀のピアノなどのデモ演奏
- 企画展「大正琴の世界」
11/9(日)～2/1(日) 企画展示室
大正元年に名古屋で発明された大正琴。今なお人気の大正琴の魅力を紹介いたします。
- 企画展講座「大正琴・発明者森田吾郎の夢とロマン」
11/29(土) 14:00 アクトシティ研修交流センター
講師：金子敦子(名古屋芸術大学教授)
- レクチャーコンサート
「バッハ：無伴奏チェロ組曲
～ヴィオロンチェロ・ダ・スパッラによる～」
12/14(日) 14:00 アクトシティ音楽工房ホール
演奏：寺神戸亮
- 講座「楽器の中の聖と俗」
第44回「アカ族・カレン族・モン族の山村で」
1/10(土) 14:00 アクトシティ研修交流センター
講師：西岡信雄(大阪音楽大学名誉教授・当館名誉館長)
- 世界の楽器体験ワークショップ
「韓国の両面太鼓・チャンゴ」
Aコース 11/15(土)13:00～16:00
Bコース 11/16(日)13:00～16:00
アクトシティ研修交流センター
講師：リ・チャンソプ(サムルノリ演奏家)

◆博物館日誌

- 7/26(土) 特別展ミニ講座「ビバ、ブラジル音楽」
14:00、15:30
講師：翁長巴西 参加者111名
- 7/27(日) ミュージアムサロン「マリンバ」15:30
参加者70名
- 8/1(金)～8/7(木)
学芸員実習12名
- 8/2(土) 中国古代楽器ミニコンサート
「五弦琵琶・編鐘・編磬」14:00
演奏：蔣婷、孟晓亮 参加者120人
- 8/3(日) ミュージアムサロン「アンクルン」
11:00、12:30、14:00、15:30
演奏：学芸員実習生 参加者221名
- 8/6(水) ワークショップ「馬頭琴」10:00、13:00、
15:00 講師：馬頭琴レクチャーグループ・
サランモル 参加者17名
- 8/9(土) 特別展講座「甦る古代中国の音」14:00
講師：明木茂夫 参加者48名

ミニ講座「ビバ！ブラジル音楽」

特別展「音彩浪漫ブラジル紀行」(7/13～8/31)の開催期間にあわせて、ブラジルの音楽を紹介する講座を開催しました。ブラジルの黒人宗教「カンドンブレ」、カーニバルで有名な「サンバ」、アマゾン地域のインディオが奏でる楽器などの実演や紹介のほか、会場皆さんの参加でサンバの演奏体験も行ないました。

日 時：平成20年7月26日(土)
14:00、15:30
会 場：楽器博物館展示室
講 師：翁長巴西(ブラジル伝統芸能研究者・打楽器奏者)



- 8/10(日) 中国古代楽器ミニコンサート
「古箏・箏篋」14:00、15:30
演奏：山寺美紀子、朽尾麗 参加者221名
- 8/16(土) ワークショップ「バンジョー」10:30、13:00
講師：原さとし 参加者18名
- 8/16(土) ミュージアムサロン「バンジョー」15:30
演奏：桑原達也 参加者113名
- 8/17(日) レクチャーコンサート
「楽しいスイス アルプホルン」14:00
音楽工房ホール 演奏：玉川アルプホルン
クラブ 入場者165名
- 8/21(木) 県民の日 無料入館日 入館者917名
- 8/24(日) ミュージアムサロン「馬頭琴」14:00、15:30
出演：サランモル 参加者266名
- 8/28(木)～9/12(金)
インドネシア・フィールドワーク
- 8/31(日) 特別展「敦煌莫高窟壁画からの復元楽器」
会期終了 期間中入館者22,232名
- 8/31(日) 特別展「音彩浪漫ブラジル紀行」
会期終了 期間中入館者20,946名
- 9/17(水)～9/19(金)
移動楽器博物館(浜松市立北庄内小学校)
- 9/21(日) ワークショップ「バリ・ガムラン」18:30
講師：皆川厚一 参加者19名
- 9/23(火) レクチャーコンサート
「超絶技巧 ハーモニカ四重奏」14:00
音楽工房ホール 演奏：スヴェング
入場者273名
- 9/27(土) フォルテピアノ・イブニングサロン
18:30 鍵盤楽器展示室 参加者42名
- 9/30(火) 移動楽器博物館(浜松市立城西小学校)
- 10/4(土) 講座「楽器の中の聖と俗」第43回
「華麗に舞うハニ族、ペー族そしてタイ族」
14:00 アクトシティ研修交流センター
講師：西岡信雄 参加者29名
- 10/5(日) ミュージアムサロン「アンクルン」14:00
演奏：伊藤弘恵(当館職員) 参加者48名
- 10/12(日) ミュージアムサロン「ミュージカルグラス」
14:00 演奏：松尾圭子(当館職員)
参加者68名
- 10/19(日) レクチャーコンサート
「ニャティティ ケニヤ、ルオーの魂」
14:00 音楽工房ホール
演奏：向山恵理子ほか 入場者92名
- 10/20(月)～10/22(水)
移動楽器博物館(浜松市立砂丘小学校)
- 11/3(月) 文化の日 無料入館日 入館者1,353名
- 11/9(日) 企画展「大正琴の世界」開催～2/1(日)

利 用 案 内

開館時間：午前9:30～午後5:00
休館日：毎月第2・4水曜日(祝日の時は翌日)、年末年始、
その他施設点検等のための臨時休館日
常設展観覧料：個人 団体(20人以上) 団体(80人以上)
大人(大学生以上) 400円 320円 240円
中人(高校生) 200円 160円 120円
※中学生以下、高齢者(70歳以上)、障害者の常設展入館料は無料です。

浜松市楽器博物館だより

平成20年11月10日発行 No.53
編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 静岡県浜松市中区中央3-9-1
TEL 053-451-1128
FAX 053-451-1129
URL <http://www.gakkihaku.jp>
MAIL wakuwaku@gakkihaku.jp
印刷 株式会社シバプリント